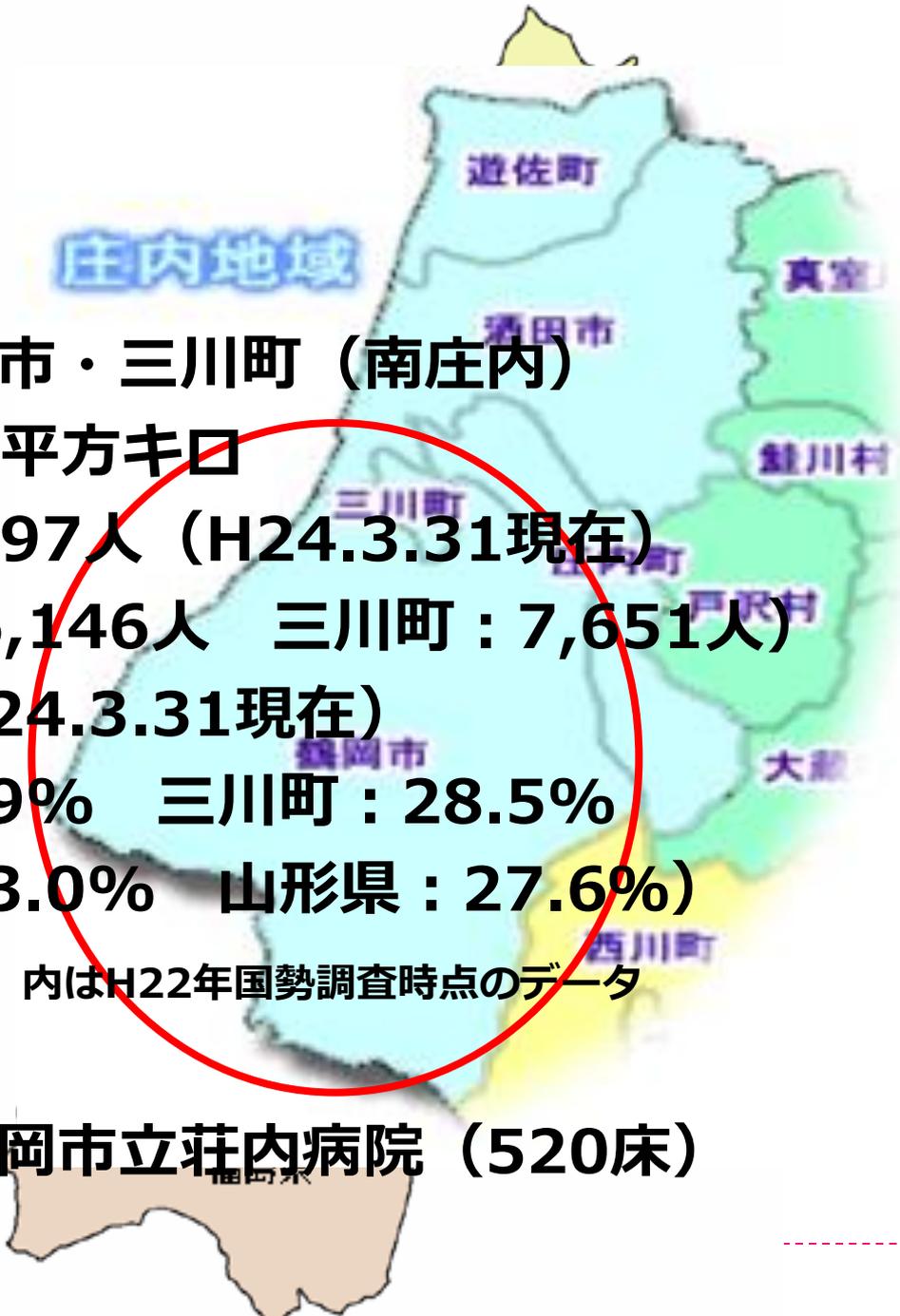


ほたるの活動報告 ～医師会モデル確立を目指して～

社団法人鶴岡地区医師会
在宅医療連携拠点事業室ほたる 島貫 設子





庄内地域

- ◆ 医療圏：鶴岡市・三川町（南庄内）
- ◆ 面積：1,344平方キロ
- ◆ 人口：143,797人（H24.3.31現在）
（鶴岡市：136,146人 三川町：7,651人）
- ◆ 高齢化率（H24.3.31現在）
鶴岡市：28.9% 三川町：28.5%
（全国平均：23.0% 山形県：27.6%）

※（）内はH22年国勢調査時点のデータ

- ▶ 中核病院：鶴岡市立庄内病院（520床）

タスク 1

多職種連携の課題に対する解決策の抽出



多職種が一堂に会する場の設定

【ほたる多職種研修会】 参加者合計 約450名

	開催日	テーマ	講師	参加者
1	7月18日	脳卒中	病院医師	137名
2	8月22日	糖尿病	病院医師、薬剤師、栄養士	105名
3	10月3日	リハビリ	病院医師、老健PT、訪問リハOT	151名
4	2月15日	エンゼルケア	緩和ケア認定看護師	50名位



【その他 共催・後援した研修会】

	開催日	会の名称	参加形態	参加者数
1	5月21日	第1回南庄内在宅医療を考える会	共催	29名
2	8月2日	第1回医療と介護の連携研修会	共催	181名
3	10月15日	第2回南庄内在宅医療を考える会	共催	22名
4	11月22日	第2回医療と介護の連携研修会	共催	137名
5	12月9日	在宅歯科医療と口腔ケアについての多職種連携研修会	後援	1部2部 合計169名
6	12月14日	鶴岡協立病院 高齢者・認知症ケア推進委員会 発足記念講演会	共催	140名
7	2月14日	在宅訪問歯科診療報告会	共催	

意見交換会は
3月に実施予定



課題：歯科医へ繋ぐ窓口がない→口腔ケア提供体制の構築

訪問歯科診療相談窓口の設置

- ▶ 鶴岡地区歯科医師会との定期的なミーティング（毎月第4月曜日13:00～）
- ▶ 「訪問歯科診療のご案内」のパンフレットを医療機関等に配布（1,000部）
- ▶ 在宅訪問歯科診療運用状況の報告会を共催予定（2月14日）

訪問歯科診療申込み件数（ほたるを通した分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
0	1	3	0	0	1	1	1	1	0	8件

回復期リハビリテーション病院への歯科介入

回復期病院に入院している脳卒中パズ患者を対象に歯科医師会で作成したチェックシートを用いた、看護師による歯科スクリーニングを実施（10月1日より運用開始）

- ▶ 回復期病院と歯科の会議を開催（現在5回開催済み）

«10月・11月の歯科治療希望者状況»

	脳卒中パズ新入院患者数	歯科治療実施者数
10月	12名	1名
11月	7名	3名
12月	12名	2名



課題：地域の各種会を集約する窓口がない→学習会集約窓口を設置

地域内の医療介護全般に関する各種学習会やイベントの予定を、ほたるホームページ上で集約して周知することを7月から開始。イベントコーディネーター役を担う

メインメニュー

- ▶ ごあいさつ
- ▶ ほたるの業務案内
- ▶ 相談窓口のご案内
- ▶ 在宅医療連携拠点事業
- ▶ 活動報告
- ▶ ほたる便り
- ▶ 報道・メディア
- ▶ 学習会集約カレンダー
- ▶ アクセス
- ▶ リンク集

在宅医療地域資源マップ



◀◀ 2012年10月 ▶▶

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 第3回ほたる多職種 研修会	4	5	6
7 健康と福祉のつどい 開催	8 体育の日	9 庄内南部地域連携 バス催 基礎からの胃腸ゼミ ナー	10	11	12	13 男性のための介護 教室
14 市民健康のつどい	15 第2回南庄内在宅医 療会	16	17	18	19	20
21	22	23				
28 第32回福祉体育祭 「ふれ	29	30				

予定表 - 詳細情報 -

件名	第3回ほたる多職種研修会
開始日時	2012年 10月 3日 (水曜日) 19時00分 (GMT+09:00)
終了日時	2012年 10月 3日 (水曜日) 20時30分 (GMT+09:00)
場所	にこ・ふる
連絡先	拠点室ほたる メインテーマ：リハビリについて 講演1「回復期リハビリの役割と退院移行期のリハビリ」 講師：山梨リハビリテーション病院 診療部副部長 今福 圭子 先生
詳細	講演2「老健のリハビリの視点から」 講師：介護老人保健施設みずばしよう リハビリテーション科主任 理学療法士 佐藤 智恵子 先生
	講演3「訪問リハビリの視点から」 講師：訪問看護ステーションハローナース 理学療法士 丸山 裕也 先生



タスク2

在宅医療従事者の負担軽減の支援



課題：訪問看護のマンパワー不足→訪問看護師へのアンケート調査

1回目アンケート

【目的】 訪問看護師の本来的業務・役割の見直しを行い、訪問看護師の負担を軽減する対策を講じる

【対象】 当地区の訪問看護ステーションに勤務する訪問看護師21名

2回目アンケート

【目的】 1回目アンケート結果から課題となった項目の業務内容を調査する

【対象】 当地区2箇所の訪問看護ステーション

「訪問看護業務の課題」

課題	対策
薬剤師との連携強化	薬剤師会との話し合いの場を設定
看護記録等の事務的業務の軽減	看護記録システムの開発を検討

「まとめ」

- ▶ 課題の把握はできたが、訪問看護師の負担を軽減するための具体的な対策を講じるまでには至っていない
- ▶ 2つの訪問看護ステーションが、統一した看護記録システムを開発することも視野に入れる

課題：訪問服薬指導を実施する薬局の不足と医師の理解不足

薬剤師会で実施した訪問服薬指導等に関するアンケート結果

年度	総数	対応可能	応相談	不可	無回答
H23年度	55	11 (20%)	23 (41.9%)	21 (38.1%)	0 (0%)
H24年度	56	10 (17%)	24 (42.8%)	16 (28.5%)	6 (10.7%)



「考察・対策」

- ①訪問服薬指導の実施状況に昨年度との**大きな変化はない**
(鶴岡・三川)
- ②訪問可能時間や訪問範囲、時間外対応、退院カンファレンスへの参加体制の有無等、今年度の**アンケート内容に在宅医療に関する情報を追加**して調査していただいた
- ③アンケート結果をもとに、在宅医療の推進に関する**薬剤師会との話し合いの場**を設ける (2月から)

課題：組織横断的な情報共有体制が構築されていない→

在宅医療地域資源マップのホームページでの公開

施設詳細

施設基本情報

施設名
〒
TEL
FAX
電子

「地域の医療介護資源マップ登録件数」

病院・診療所	:	99
歯科診療所	:	54
薬局	:	63
介護系サービス	:	265
障がい福祉サービス	:	162

診療所詳細情報

車椅子の用意がある	無
バリアフリースロープがある	
紹介時の連絡が必要	不要
往診が可能である	はい

在宅医療拠点

在宅

施設名

住所

地域

〒引区域

在宅医療

往診/訪問

障がい区分

身体

知的

障がい児

精神

施設区分

医療

病棟

内

航空写真

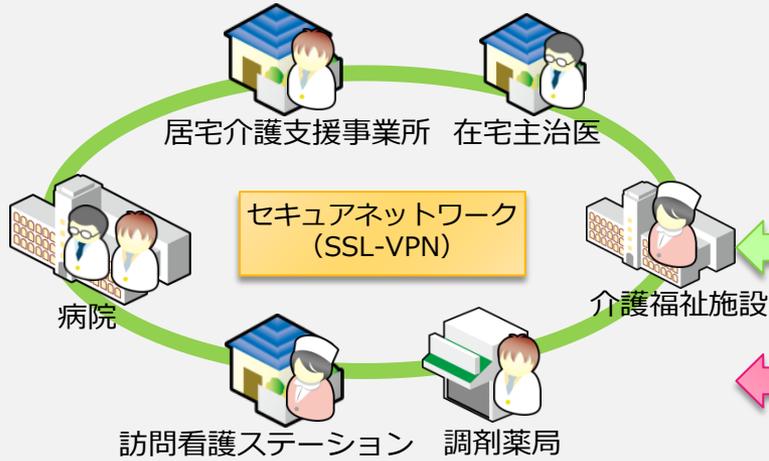
柳引た
だい

患者情報共有ツールの活用と展開

Net4U

～当地区で10年以上利用されています～

医療・介護従事者のための患者情報共有ツール



Note4U

～本年度はたたるが主体となりシステム構築～

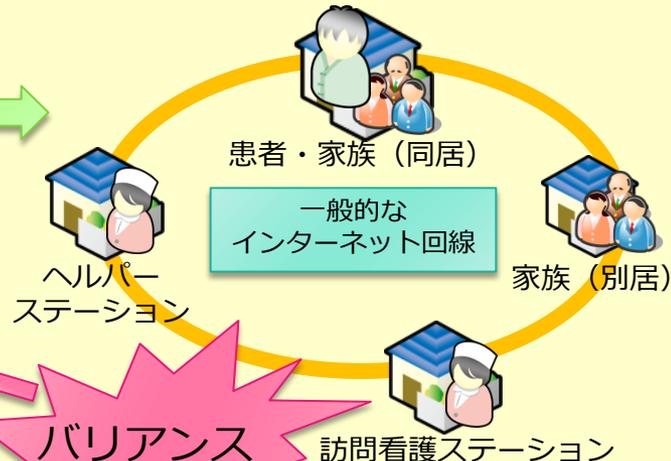
介護者参加型在宅高齢者見守りWEB連絡ノート

データ連携機能

検査結果
処方

見守り情報
連絡ノート

バリエーション通知



バリエーション発生

Net4U
患者情報
2012年01月24日 (火)
処方
#1 (内服) 1日2回朝食後
薬剤名 数
トリメロジン錠 2.5mg 2錠
#2 (内服) 1日3回朝食後
薬剤名 数
オースチン小腸吸収剤 7.8g
2012年01月22日 (日)
処方
#1 SOAP形式の処方
D01 入力可能です。
D02 カルシウムは
D03 併せて処方されます。
2012年01月21日 (土)
患者共有の処方

Note4U
日記
2012年10月4日
記入者：山田花子 (家族・姉)
食事は3食とも良好。気分はすくなくないようだったが、意識が公衆に弱まらなくなって行く。寝分よくなったようだ。夕方、ヘルパーの川崎さんが来てケアをして頂く。
記録
2012年10月4日
記入者：川崎花子 (ヘルパー・訪問看護)
体重 42.5kg
血圧 (上) 99mmHg
血圧 (下) 38mmHg
心拍数 53回/分
意識障害 なし
食事摂取量の低下 なし
嚥下・皮膚の異常 なし
尿量回数の低下 なし
処方
2012年10月4日
記入者：山田花子 (訪問看護)
#1 嚥下 (内服) 1日2回朝食後
薬剤名 数
レニベス錠5 1錠
#2 (内服) 1日2回朝食後と朝食前
薬剤名 数
メルバスク5mg 1錠
体重 体温 血圧 心拍数
10月4日 42.6 37.9 142/110 52
10月7日 42.5 37.2 149/94 54
10月2日 42.5 36.5 132/103 52

タスク 3

効率的な医療提供のための多職種連携



医療依存度の高い方の施設受入れ情報データベース

施設検索 印刷する データを開く メニューへ戻る

- 効果検証のためのアンケートを実施予定（2月）
 - ▶ 現在調査内容について検討中。利用頻度や使用してどのような効果が得られたか、また、課題等について分析を行う
- 閲覧制限をかけ、ほたるのホームページ上にデータベースを公開予定（3月）

土日祝日の送迎対応 <input checked="" type="checkbox"/>	CPAP <input checked="" type="checkbox"/>	人工呼吸器装着 <input checked="" type="checkbox"/>
入所の送迎対応はしていません	インシュリン対応 <input type="checkbox"/>	
	洗濯代行 <input type="checkbox"/>	売店対応

退院カンファレンスへの参加（急性期病院の緩和ケアカンファレンス）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1	2	0	0	2	2	0	0	0	0	7件

緩和ケアカンファレンスの開催自体も減ってきている。また、他の疾患の退院前カンファレンスへも参加できるように、病院側から理解してもらうことも必要となっている



地域包括支援センターつくしとの連携

山形県地域ケア会議等 広域支援員等運営会議

- 地域ケア推進担当者会議への参加
(毎月第1水曜日)
参加者：行政保健師、市社協地域福祉課、
地域包括支援センターつくし、ほたる
- 地域ケアネットワーク会議 4回
- 介護者のつどい 2回
- 町内会ごとの集会等 6回
- ◆ 地域で開催される会へ積極的に参加し、
ほたるの周知、地域課題に対する医療的
助言、参加者からの相談に対応した
- ◆ 包括との連携を継続していくことが、包
括と拠点のより良い関係づくりに繋がる

＜趣旨＞

- ◆ 地域包括支援センターのコーディネート
機能の強化を支援する
- ◆ 山形県の地域包括ケアシステムの構築す
るため必要な事項を定める

● 広域協力機関として参加

今までの活動から得た経験を生かし、オブ
ザーバー的立場で意見や助言等を行っている



包括と一緒に
寸劇

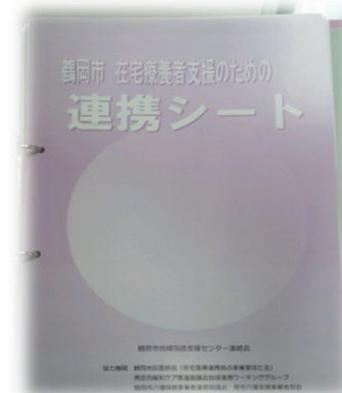
行政との連携

- 定期的なミーティング（毎月第1月曜日13：00～）
出席者：庄内保健所、鶴岡市長寿介護課地域包括支援センター
- 医療と介護の連携推進担当者会議への出席（研修会企画会議）
- 鶴岡市地域包括支援センター連絡会が行った「介護支援専門員業務実態に関するアンケート」に、昨年度作成した「在宅療養者支援のための連携シート」活用についての項目があり、結果をフィードバックする

利用状況	人数
いつも利用している	9名
ときどき利用している	55名
全く利用していない	68名
合計	132名

理由

- ・近隣医師との連携はとれている
- ・ケアマネ個人の所有物ではないため、冊子があることさえ分からない



- その他共催した活動
…鶴岡市主催「福祉体育祭」で包括の利用方法を寸劇で演じ、展示やアナウンスで訪問診療や介護サービス、ほたるのPRを行った（参加者780名）



ショートステイ空き情報提供

情報提供事業所数 : 23

閲覧事業所数 : 48 (居宅介護支援事業所、病院地域医療連携室など)

短期入所空き情報

【表の説明】 ●…十分に利用ができる（3名以上） ▲…多少の空きがある（1～2名） ×…短期入所サービスの空きなし

サービス事業所名	電話番号	1/28 (月)	1/29 (火)	1/30 (水)	1/31 (木)	2/1 (金)	2/2 (土)	2/3 (日)	2/4 (月)	2/5 (火)	2/6 (水)	2/7 (木)	2/8 (金)	2/9 (土)	2/10 (日)	2/11 (月)	2/12 (火)	2/13 (水)	2/14 (木)
池幸園 (多床室) NEW	25-2881	×	×	×	×	▲	▲	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	▲
池幸園 (個室) NEW	25-2881	×	×	×	×	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
永寿荘 NEW	25-6111	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	×
おおやま	38-0250	×	×	×	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	×
しおん荘 NEW	76-3735	×	×	▲	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
温寿荘	43-2351	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ふじの花荘 NEW	64-5880	×	▲	▲	▲	▲	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かみじ荘 (多床室) NEW	62-2233	●	●	●	●	×	×	●	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かみじ荘 (ユニット) NEW	62-2233	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	▲
桃寿荘 NEW	57-3222	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かたくり荘	53-2300	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	▲	▲	×	×	×	×	×
ぶなの杜 NEW	58-1535	×	×	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
なの花荘 (個室) NEW	66-4831	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
なの花荘 (二人室) NEW	66-4831	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
のぞみの園 NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
サテライト老健のぞみ NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
サテライト老健ちわら NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かけはし (療養介護) NEW	25-1131	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ショートステイかけはし (生活介護) NEW	25-1131	×	▲	▲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

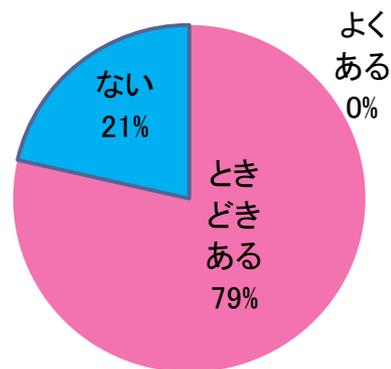
アクセス数 : 1,097件
(H24.4月～H25.1月18日現在)

利用状況アンケート調査中間報告（H25年1月実施）

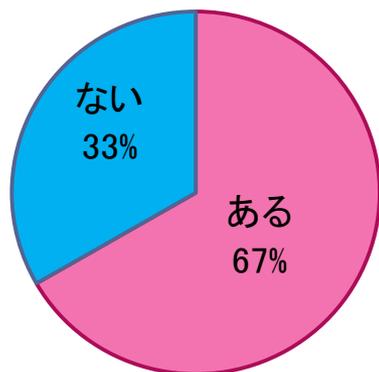
情報提供側

（21事業所中13事業所からの回答）

Q、ショートステイ空き情報を介した問い合わせを受けたことがありますか



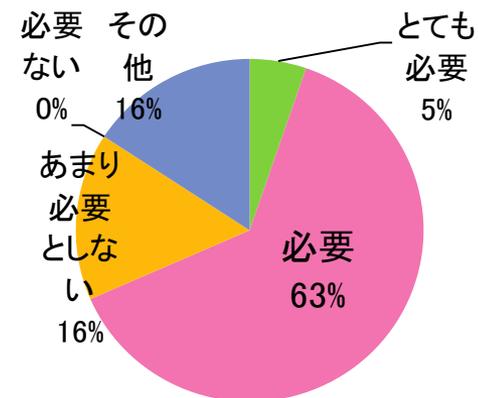
Q、この情報を介した問い合わせを受け、実際に利用したケースはありましたか



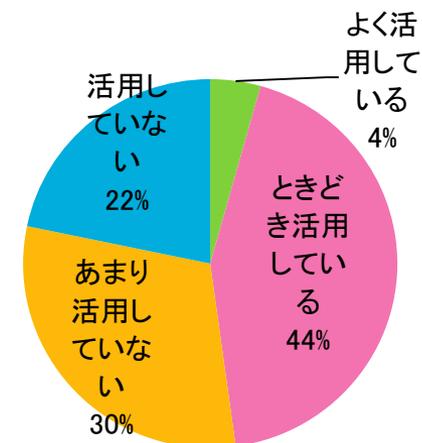
閲覧側

（44事業所中24事業所からの回答）

Q、この情報は必要だと思いますか



Q、ショートステイの空き情報を活用していますか



タスク 4

在宅医療に関する地域住民への普及啓発



住民向け啓発活動

- 住民向けリーフレットの作成
7月に2,000部発行→1,200部以上配布済み
- ニュースレター「ほたる便り」の発行
年4回のうち2回発行済み、各450部
- 鶴岡市主催「市民健康のつどい」への参加
204名から展示閲覧後アンケート実施
- 地域で行われる会議や活動に参加しての展示等PR
 - ・庄内プロジェクト市民公開講座
 - ・庄内地域医療連携の会市民公開講座
 - ・鶴岡市主催福祉体育祭など



在宅医療に関することや「ほたる」についての普及啓発だけではなく、地域住民からの声を直接聞ける良い機会であった

総合相談窓口

相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H24年度 件数	7	2	6	6	7	9	7	3	9	2			58
うち 地域住民	1		1		2		1			1			6
H23年度					2	1	1	2	3	8	3	9	29

相談元（機関別）

機関名	件数
医療機関	18
地域包括支援センター	3
居宅介護支援事業所	25
小規模多機能施設	1
訪問看護事業所	2
グループホーム	2
障がい者支援センター	1
地域住民	6

内容（上位5つ）

内容	件数
地域資源の情報提供	17
相談支援	14
医療依存度の高い方の入所先	10
入所施設について	9
往診医について	8

タスク5

在宅医療に従事する人材育成



人材育成

《人材育成に関する地域の課題》

- 職種間の知識不足
- 医療・福祉・介護に携わる多職種が一堂に会して学ぶ機会が無い
- 特にケアマネジャーの多くが福祉職で、医療の知識に対する不安を持っている

《実施・予定している活動》

- 多職種対象研修会（年4回）
- 医療と介護の連携研修会（年2回）
- 東京都連携実務者協議会からのパネリスト依頼
- 他地域からの要請による講演

《都道府県リーダーとして地域リーダー研修》

山形県では今年度1市1村で実施予定とのこと。ただ研修そのものの内容・期日も定まっておらず、拠点事業としての関わりも今のところ未定



出張勉強会

きっかけ…

ケアマネからほたるへの電話相談



開催前に…聞きたいこと・学びたいことを事前に知るべく、事業所にアンケート調査を実施

アンケートの内容より、福祉については行政担当部署に、在宅医療については訪問看護師から情報を収集

ほたるのスタッフ（看護師・相談員）が事業所へ出向き、勉強会を開催



（参加者）

居宅介護支援センター・包括支援センター職員…7名

（講師）ほたる 2名

《参加者の感想》

- ・基礎資格が介護職のケアマネは医療に弱いため、医療サービスに繋がられないということはケアマネジメ
ントに大きな不安を抱えている
- ・ケアマネ対象に研修会等多数行われているが、大きい規模ではなかなか聞けないことを勉強会として開催
したいといった希望に応えてくれる場所があって心強い



《まとめ・今後の予定》

- ・ケアマネ個人、事業所ごとに医療に関する知識が不足していると感じた。その底上げをどのようにして
いくべきか検討が必要
- ・出張勉強会の開催について地域全体に周知する



ご清聴ありがとうございました

